

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

身近な地域課題を考
える選挙戦が続くこと
しの6月下旬。NHK
福井放送局の小國博史
記者の「夏なのに・
大雪で給与カット」の

情報が気になった。こ
としはじめ、日本各地
の記録的な大雪の影響
での情報だ。北海道夕
張市が財政再生団体と
なり職員等の給与カッ
トとは全く異なるケー
スで全国至る所で起こ
りえる給料カットの先
例となるかもしれない
からだ。

2月の記録的な大雪
で除雪費が当初予算の
10倍強の50億円にのぼ
り財源不足で福井市が
赤字団体に。災害対策
や財政調整の為の基金
を全額取り崩し、国の
特別交付金や補助金を
充てても、17年度の実
質収支は約3億円の赤
字、これを18年度予算

で穴埋めしようとする
と、本年度の補正予算
分と合わせると13億円
の財源不足になる恐れ
が生じた。

大型事業の先送り、
既存事業の見直しでは
5億円の支出しか削減
できず、不足分確保の
ため職員労組と交渉、
給与削減率は管理職10
%、そして管理職手当
も10%カット、職員全
体で平均5・8%の
カットを9カ月間実施
するとの内容だった。

が底をついたのは大き
な問題。適正規模の額
を積み立てていなかっ
たのは、市議会にも責
任がある」とし、議員
報酬を9カ月間一律10
%削減する事を決めて
いる。自然災害を理由
に、生活給である職員
世給末に洪水リスク4
倍との試算
もある。

可能性を指摘。被害推
計は1410兆円、発
生後20年という長期間
の経済的被害を想定。
また国土交通省の試算
では、地球温暖化の影
響で、主に国が管理す
る全国の1級河川で今
世紀末に洪水リスク4
倍との試算
もある。

災害リスクの高い時代に行政運営 の在り方の論議が求められている

除雪費用
も他人事で
はない。災害リスクを
考える上で基金の必要
な事は疑う余地もな
い。当選目的の大きな
公約も必要かもしれな
いが、地域を守り続け
るために、住民に耳の
痛い話も不可欠だ。そ
して職員も理事者の指
示だからと行政職員の
務めを放棄せずに問題
点を提起する事が求め
られる時代にいる意識
を常に持ち続ける事が
大切だ。理事者・議員
も含め職員も常に非常
時に対応できる様、地
方自治に携わってほし
いと思っている。
(NPO法人信州地域
社会フォーラム理事・
白馬村森上)



山麓からの里の情景を保全するためにも、災害
時に対応する基金の在り方も大切な視点だ